

■科目名			
総合的な学習の時間及び特別活動の指導法			
■開設年度	■区分	■学科名	■分類
2021	教職に関する科目【他学部用】	教育学	
■単位数	■履修期	■履修条件	■開講期
2	5期	以降	前後
■担当教員			
迫田 孝志・廣瀬 真琴・山口 幸彦			
■代表教員名及び連絡先等			
迫田孝志 099-285-8913 sakoda@edu.kagoshima-u.ac.jp			
■オフィスアワー			
迫田（火1限） 廣瀬（木2限） 山口（火3限）			
■講義の概要（目的・内容・方法）			
<p>総合的な学習の時間の目的・意義・理念等、基本的な知識を獲得するとともに、その本質を理解する。また、総合的な学習の時間における学びを充実させていくうえで、教員自身にはどのような教養や社会認識等が求められるかを実感するとともに、それらをどのように獲得していくか、自身の成長イメージを具体化する。</p> <p>また、特別活動の学校教育における意義や役割について考察し、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等の特別活動の本質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付け、教師としての基礎的な力量を養う。</p>			
■授業の到達目標及びテーマ			
<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間の意義や各学校において実践を開発していく際の考え方を理解する ・総合的な学習の時間のデザインの要点を理解し、実践上の課題と指導と評価の一体的認識の重要性を理解する。 ・特別活動の意義、目標及び内容を理解し、特別活動の指導の在り方を理解する。 			
■授業計画			
<p>第1回：オリエンテーション・事前評価（廣瀬・山口・迫田）</p> <p>第2回：学習指導要領の変遷及び平成29年度改定の基本方針（廣瀬・山口・迫田）</p> <p>第3回：指導計画とカリキュラム・マネジメント（廣瀬・山口・迫田）</p> <p>第4回：探究的・体験的活動を取り入れた授業デザインと評価（廣瀬・山口・迫田）</p> <p>第5回：学習指導要領における総合的な学習の時間の目標と特質（山口・廣瀬・迫田）</p> <p>第6回：総合的な学習の時間における探究的な学びのデザインと教師の役割（山口・廣瀬・迫田）</p> <p>第7回：地域社会の特色を活かした総合的な学習の時間（山口・廣瀬・迫田）</p> <p>第8回：総合的な学習の時間の実践（山口・廣瀬・迫田）</p> <p>第9回：総合的な学習の時間と学級経営及び他教科等との関連（山口・廣瀬・迫田）</p> <p>第10回：学習指導要領における特別活動の目標と特質（迫田・廣瀬・山口）</p> <p>第11回：学級活動の目標と実践（迫田・廣瀬・山口）</p> <p>第12回：生徒会活動の目標と実践（迫田・廣瀬・山口）</p> <p>第13回：学校行事の目標と実践（迫田・廣瀬・山口）</p> <p>第14回：特別活動と学級経営及び各教科等との関連（迫田・廣瀬・山口）</p> <p>第15回：総括 小論文及び事後評価（廣瀬・山口・迫田）</p> <p>*新型コロナウイルス感染拡大防止のために授業形態を遠隔方式で実施する場合がある。</p> <p>*教室の収容人員と受講希望者との関係で、全体講義5回をZoomによる一斉講義、総合的な学習の時間5回と特別活動5回を2グループ編成で平行して開講する場合もある。</p>			
■授業外学習（予習・復習）			
<ul style="list-style-type: none"> ・講義内容に該当する学習指導要領解説「総合的な学習の時間編」及び「特別活動編」を確認する。 ・新聞記事、インターネット等を活用して、「総合的な学習の時間」及び「特別活動」の具体的な実践例について情報収集を行い、理解を深める。 ・受講者自身が小・中・高校生時に体験した「総合的な学習の時間」及び「特別活動」の内容を想起し、教育的な意義について考察を深める。 			
■受講要件			

■成績の評価基準

- ・授業中に取り組んだ演習課題、ワークシート、小レポートの内容評価（80%）
- ・最終課題（20%）

■教科書・参考書

- ・小学校学習指導要領解説「総合的な学習の時間編」「特別活動編」
- ・中学校学習指導要領解説「総合的な学習の時間編」「特別活動編」
- ・小柳正司・八田明夫編（2013）『生活科・総合的学習の新展開』あいり出版

■教師としての資質能力に関するチェック項目

1. 教職の意義（使命感・倫理観等）に関する理解

【A教職の理解】教職の意義と役割を理解し、教育的愛情に支えられた使命感や職責感を持っている

3. 教育方法に関する理解

【A教職の理解】教育方法の理論に関する理解を深め、複式指導や少人数指導、教材開発や活用、授業分析など、指導法や授業改善について理解している

6. 保護者・地域社会との連携力

【B連携協働力、自己改善力の育成】学校と家庭や地域社会との連携・協力の在り方について、基本的な理解を深め、自ら連携・協力しようとする態度を身に付けている

14. 教材分析力及び授業デザイン力

【D構想力、展開力、評価力等】教材を分析する能力を身に付けており、教材研究にもとづいて授業をデザインすることができる

15. 授業展開力及び授業評価力

【D構想力、展開力、評価力等】基礎的な教育技術や教育評価について理解し、それを活かした授業実践と、授業の評価・改善を行うことができる

19. 道徳、特別活動、総合的な学習の時間等に関する理解

【E教科領域等の内容理解】道徳、特別活動、総合的な学習の時間など、教科以外の教育活動について、その指導内容や指導方法に関する基礎的な知識を身に付けている

アクティブ・ラーニング

グループ・ディスカッション；
プレゼンテーション；
振り返り（ミニッツ・ペーパー等）；

アクティブ・ラーニング（その他）

構成的グループエンカウンター

アクティブ・ラーニング（授業回数）

全15回

■実務経験のある教員による実践的授業

山口（小学校籍）、迫田（中学校籍）は実務家教員であり、教諭時の実践及び管理職時の教育課程の編成・管理、学校経営の観点なども含め具体的な事例を提供しながら「総合的な学習の時間」及び「特別活動」の教育的意義について考察を深める。

■その他

*新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、受入可能教室の確保、講義形態等を総合的に勘案し受講者数を制限しなければならない場合がある。